

従来型補綴修復から歯を守る次世代補綴修復へ

# 補綴修復 イノベーション

細菌と咬合力を重視した生物学的  
アプローチ

Innovation in Prosthetic Restoration

Biological approach focused on bacteria and occlusal stress

柏田聡明・加藤正治・森田 誠／著

- 従来型の補綴修復にまつわる二次齲蝕、脱離・歯根破折をはじめとする問題を生物学的視点で徹底的に検証し、次世代補綴修復の鍵を握る「発症予防」と「再発予防」を具体的に明快に解説した、臨床歯科医のための待望の書！
- “次世代補綴修復の理論と実際編”では、細菌の侵入をブロックし、咬合力に負けない接着安定性、歯質強度の維持などの獲得のために何を重視すればよいかを詳述。
- “補綴修復治療の実際編”では、補綴修復のベースになる形成、二次齲蝕予防のための接着、覆髄、支台築造、審美障害の回復などのテクニックを、独自の治療用フローチャートに基づいてビジュアルに展開。
- 補綴修復イノベーションによって、トラブルを極力排除した「10年保証の補綴修復」を！

INNOVATION

■A4判／216頁／オールカラー

■定価12,600円

(本体12,000円＋税5%)

ISBN978-4-263-44252-4

補綴修復治療のトラブルは、その原因を除去しないかぎりなくならない

—新材料に頼るといふ発想から、原因除去療法へと発想を転換

補綴修復治療の技術は、20世紀後半になって飛躍的に発展した。しかし、ひるがえってそれらの補綴修復を施した歯をどこまで延命させることができたかを問われたとき、胸を張って答えられる歯科医がどれだけいるだろうか。技術の進歩・発展が、必ずしも歯の保存・延命に寄与してこなかったことを、真摯に術後経過を追い続けている歯科医であれば、誰もがどこかで気づいているのではないか。

大学で学び、学生にも教えてきたセオリーに忠実に従って治療しているにもかかわらず、二次齲蝕や補綴物の脱落、歯根破折などのトラブルが予想以上に多いことを思い知らされ、愕然とした。

結局、補綴修復治療におけるトラブルの原因を根本から追究し、その原因を除去しない限りトラブルはなくなると思えるようになった。新材料に頼るといふ発想から、原因除去療法への発想の転換であった。トラブルの原因を追究するために、毎日の診療の傍ら、多くの *in vitro* と *in vivo* の実験を行った。その結果、次第にわかってきたことは、トラブルの原因を追究していけば必ず「細菌」と「咬合力」に行き当たるということであった。従来信じていた補綴修復学の「常識」の多くが「非常識」であったことに気づいた。

研究を始めてから二十数年が経過した。今日、筆者の歯科医院では、補綴修復歯において二次齲蝕や補綴物の脱落などのトラブルは皆無とはいわないまでも、ごくまれにしかみられなくなっている。この方法を多くの臨床家に伝えたいと考え、母校の同窓会をはじめとして、多くの会場で講演会・講習会を開催してきたが、受講した方々から「本は出版されていないのか」という質問をいただくのが常であった。

【著者代表 序文より抜粋】

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>

## CONTENTS

### 第1章 補綴修復治療の新しいコンセプト

「補綴物本意」から「歯本意」へ/新しい補綴修復治療のコンセプト/10年保証する補綴修復を考える

### 第2章 次世代補綴修復に向けての「検証」と「提言」

#### 1-従来型補綴修復にまつわる問題点を検証する

適合を追求しても二次齲蝕は防げない/失活に起因するトラブル/メタル主体の失活歯補綴修復の問題点-脱離・歯根破折はなぜ起こるか/予防と補綴の分離/トラブル連鎖が起こっている/高齢者にとって厳しい補綴修復の現状

#### 2-次世代補綴修復の提言

次世代補綴修復の鍵を握る「発症予防」と「再発予防」/カリオロジーをベースにした再発予防の展開

### 第3章 次世代補綴修復の理論と実際

#### 1-細菌の侵入をブロックするために

従来の接着システムの特徴と問題点/補綴的立場から追求する象牙質の接着耐久性/高い辺縁封鎖性を実証したADゲル法/ADゲルの特徴と使用法

#### 2-咬合力に負けない接着安定性を得るために

理工学的考察-弾性率を中心に「歯質・修復物複合体」としてとらえる/臨床的考察-マージン形態と応力集中

#### 3-生体の治療力、歯質強度を低下させないために

補綴修復における抜髄を考え直す/歯髄を救うレジン直接覆髄/歯髄症状を有する症例に対するアプローチ/歯髄を残すための判断基準/断髄法への応用/歯髄保護のためのコーティング法についての見解

#### 4-安心・安全な根管治療をするために

根管治療の目的/根管治療におけるADゲル法の有効性/ADゲル法を用いた新たな根管治療の展開/ADゲル法を用いた根管治療の実際

#### 5-歯根へのストレスを軽減するために

支台築造の本来の目的-上部構造から考える/歯根に加わる応力を緩和する/コンポジットレジン支台築造における間接法の有用性/臨床経過からの考察

#### 6-耐酸性の高い歯質を獲得するために

歯質を強化するためのアプローチ/耐酸性層形成による歯質の強化/再石灰化促進による歯質の脱灰抑制

### 第4章 補綴修復治療の実際

#### 1-チャートに基づく目で見える補綴修復治療

バナピアF2.0を中心とした接着チャート/T(支台歯被着面)の処理法/R(補綴修復物被着面)の処理法/チャートに適合する接着材の操作

#### 2-補綴修復のベースになる形成テクニック

#### 3-二次齲蝕予防のための接着テクニック

エステニアインレーの接着法/エステニアクラウンの接着法/オールセラミッククラウンの接着法/メタルボンドブリッジの接着法/ジルコニア-セラミッククラウンの接着法

#### 4-歯髄を残すためのテクニック

間接覆髄+エステニア接着/直接覆髄+エステニア接着/断髄法を用いた外傷歯の修復法

#### 5-失活歯に関連するテクニック

ファイバーポストとDCボンドを使用した直接支台築造法/ファイバーポストを使用した間接支台築造法 レジンコア作製法(前歯)/間接法によるレジンコア接着法(前歯)/ファイバーポストを使用した白歯分割支台築造(間接法) コア作製法と接着法, エステニア接着法/ファイバーポストを使用した支台築造(間接法) コアの作製法 大白歯非分割型コア/コンポジットレジン築造(大白歯・間接法/ノンポスト)

#### 6-審美障害を回復させるテクニック

ポーセレンラミネートベニア接着法/クリアフィルエステティックセメントによるポーセレンラミネートベニア接着法/歯根の漂白を併用した審美補綴修復法

#### 7-接着を応用したリカバリーテクニック

リペアテクニック/歯根破折歯の救済法/動揺歯の固定(天然歯の場合)

### 第5章 接着を成功させるための基本知識

歯質との接着/金属との接着/セラミックスとの接着/被着面の防湿

### 第6章 次世代補綴修復治療 Q&A

#### 1-歯髄の保護(直接覆髄を含む)

#### 2-支台築造

#### 3-ADゲル

#### 4-バナピアF2.0

#### 5-接着メカニズム

#### 6-耐酸性層

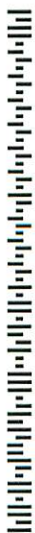


郵便はがき

1138790

255

(受取人)  
東京都文京区本駒込1-7-10  
医歯薬出版株式会社  
歯科宣伝



補綴修復イノベーション 細菌と咬合力を重視した生物学的アプローチ  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

● お名前

● ご住所

TEL.

□ ご指定納入店

支店

□ 直送希望 (一回の発送につき手数料400円別途かかります。)

切り取ってご郵送くださるか、または FAXにてご送信ください

FAX.03-5395-7633